

# 公明党の主張が実り改正公選法が成立



横浜市との合併構想を賛成した遠志村を訪問し、安藤幸典村長らと意見交換する都道府県知事会副会長。 (右)からばんなみ市議の佐藤正典氏

## 郵便投票制度を拡充 障害者代筆投票25万人の 道が開かれる

このたび、7月28日に閣議した通常国会で改正公選法が成立し、今人向等が不可能な障害者の代筆投票の道が開かれることになりました。

これに先立ち、横浜市会では障害者の代筆投票を求むる意見書を委員長・小泉首相・片山起務大臣宛に提出いたしました。

意見書提出には、ばんなみ市議が副委員長を務める都市経営戦略局政務委員会で全統一の賛成をもって本会議に提出され、各議員の賛同を得て議決の場にも送られました。

# 横浜市初 住民発意で「廃水処理施設設置」へ!



平成11年7月、地域の住民の方々から要区を流れる「阿久和川の水質が心配」との声がばんなみ市議に寄せられました。早速、横浜市環境保全課に調査を依頼。調査の中で阿久和川に注ぐ排水管から排出基準を超えるPCB(ポリ塩化ビフェニル)が検出されました。阿久和川は、環境基準以下。

ばんなみ市議は、この結果をらけ産業や水調査の要請や調査の呼びかけに対し、必要を要する費用を行ってまいりました。市は、調査の分析と関係施設の設置によるPCB等の除去実験を実施。さらに、平成15年度には、横浜市として廃水処理施設を新設することが決まりました。現在、市は、住民の代表へ新機運百目記念・新機運地を守りまじく協議を続けながら準備を進めています。

こうした小規模の施設整備事業は横浜市では初の試みで、住民の方々の意見によって実現された画期的な事例になります。今後、行先、住民の意見と共に、安心して暮らせる環境整備の実現に向けて、全力で取り組んでまいります。



# 相鉄いずみ野駅にエレベーター早期設置を!



## エスカレータの転落 事故に素早く行動

相模鉄道では、交通バリアフリー法より先取りとして平成十九年度を目途とした全駅のバリアフリー化を推進しています。いずみ野駅にもエスカレーター四基(うち車いす対応二基)が設置されており。

しかしながら、今年の夏、いずみ野駅において、電動車いす用のエスカレーターでの転落事故が発生しました。相鉄では緊急の対応として対応人員の増強などの対策を行いました。やはり早期のエレベーター設置が強く望まれます。

ばんなみ市議は早期実現に向け、障害者団体、住民代表の方々と共に全力で取り組んでまいります。

# 横浜市医師会などと政策懇談会を開催



7月1日より3日、横浜市医師会や福祉団体など33団体との政策懇談会を開催しました。公明党横浜市長選出は、市民の声を耳に届かせるため、毎年、各団体との意見交換を行っています。各団体からは、行政に対しての様々な要望が述べられるとともに、施策に関する議論も活発に行われ、よりよいまちづくりが実現することを期してまいりました。

横浜市医師会からは、①SARIS(新型急性心臓病)患者に接した場合の対策、②休日急患診療科に対する助成措置、③小児医療費助成制度の年齢拡大と所得制限緩和、の要望が寄せられました。議政に関するものは、衆議院議員上田朝臣らと連携して実現してまいりたいと考えています。

# 水路を歩道化! 通学路を確保



中田南3丁目

## 地域から「子供や 高齢者も安心」の声

平成15年春、地域の皆様から、「通学路が狭く、大変危険です」との声が、ばんなみ市議の元に寄せられました。

ばんなみ市議は、早速、東土木事務所、水辺の歩道化等に力を入れています。東土木事務所は、調査の結果、水路の深れをよくなる工事や水路のフタがけの工事を実施。今年6月水路の歩道化工事が完了しました。これで、子供や高齢者も安心と地域から喜びの声があがっています。

ご協力を頂きましたこと感謝の旨、また、要する等にご協力を頂きました多くの皆様、本当にありがとうございました。

重要関係者の皆様(中田南3丁目)の皆様のご協力のおかげで、ついに実現してまいりました。